



# NPO通信

## 第22回 かわさき市民アカデミー開講式

4月5日(金)、生涯学習プラザにて「第22回かわさき市民アカデミー開講式」が開催されました。第1部：挨拶、第2部：記念講演、第3部：オリエンテーションが行われました、新受講生のかたの出席も多くありました。太田新学長、藤嶋NPO理事長、金井川崎市学習財団理事長、砂田副市长、和田前学長、それぞれ心のこもったご挨拶を頂きました。2013年前期国際関係の講座を担当頂く遠藤先生の記念講演には、座席が足りなくなるほど熱心な聴講希望者があつまり熱気に包まれました。

太田新学長のご挨拶

～開学20周年の本年、次なるステップに向けて～



NPO藤嶋理事長のご挨拶

～一生は1年、1年は一日、一日は一瞬の積み重ね～



金井理事金井財団理事長のご挨拶 ～今を生きる～



永い間、学長としてアカデミーをリードしてきた和田前学長  
～専門家である先生方と受講生との

意見交換の場であるアカデミーに～



記念講演は、遠藤誠治成蹊大学教授(左図)による、「世界秩序の岐路—カール・ポランニー「大転換」から考える変化の方向性」をテーマとした講演でした。  
～今は、19世紀の状態に近く、そこから同じ道を歩まない道を望む。～

NPO 法人かわさき市民アカデミー

## 平成 25 年度 通常総会開催のお知らせ

1. 日時：平成 25 年 5 月 27 日（月曜日） 午後 4 時 30 分から

2. 場所：川崎市生涯学習プラザ 401 大会議室

3. 議事

(議案) 第 1 号 平成 24 年度 事業報告(案)について  
第 2 号 平成 24 年度 決算報告(案)について  
\*貸借対照表(案)、収支計算書(案)、財産目録(案)

第 3 号 監査報告について

第 4 号 平成 25 年度 事業計画(案)について

第 5 号 平成 25 年度 収支予算(案)及び・会費(案)について

第 6 号 次期役員の選任(案)について

(報告) (1) 平成 24 年度 NPO 活動報告と 25 年度活動方針について

\*NPO 正会員の皆様、是非総会にご出席ください。

\*NPO 正会員以外の方の傍聴も歓迎します。



## 理 事 会 報 告

2013 年度 4 月理事会

2013 年 4 月 26 日(金) 15 : 30 ~

審議事項 : 9 件

報告事項 : 19 件

### 主な審議事項

- ①いのちの科学ワークショップ再編成について ②野外学習サポーター制度の改正ほか  
③会議の公開規程について ④総会の議案と報告について

### 主な報告事項

- ① 平成 25 年度後期総合チラシ作成日程について  
②アカデミー開学 20 周年記念事業実行委員会からの報告  
③三者連絡会議、企画運営委員会からの報告  
④事務局職員事務分掌、業務分担、講座・WS 担当について  
⑤野外学習のあり方再検討委員会、地域活動小委員会の解散についての報告  
⑥NPO 法人すみだ学習ガーデンとの情報交換会について



## 和田あき子先生 学長退任



開学以来かわさき市民アカデミーに関わってこれ、学長を 5 年間務められた和田あき子先生がこの度学長を退任されることになりました。受講生には気さくで優しい先生、コーディネーターとしてはスゴ腕講師ハンター、学長としては厳しいお目付役としてアカデミーを見守り続けてきてくださいました。「つながる、広がる」を自ら実践するようにご自分の研究を深める傍ら、NPO 発足以降も多方面にわたって多大なるご尽力を頂きました。和田先生によって継承された開学の理想を忘れることなくアカデミーを発展させていきたいものです。



## 学長退任にあたって

和田あき子

かわさき市民アカデミー学長を退任しました。

就任した5年前、アカデミーは川崎市生涯学習財団からNPOによる市民運営への移行途上であり、運営の形はかなり複雑でした。その後完全移行が実現し、この2年間にNPOによる経営体制、事務局体制、財団との協働関係、カリキュラムを担当する専門家との協力体制などかなり整ってきました。課題がないわけではありませんが、安心して太田猛彦先生にバトンタッチをすることができました。みんなでここまでよくやってきたものです。その一員として働けたことを誇りに思います。



開学当時(?) 和田あき子先生

この5年間の日本社会を顧みますと、2008年9月にはリーマンショックがあり、さらに2011年3月東北地方は未曾有の災禍に襲われました。2万人を超える命を奪った地震・津波に加えて、恐れていた原発事故が起こりました。日本に汚染地帯が生まれ、10万人近い住民が故郷を失いました。2009年8月には政権交代が実現していましたが、私たちの期待は無惨に打ち壊され、現在国民は復活した安倍政権に期待をかけているように見えますが、この先どうなるのだろうかという不安も感じられます。

かわさき市民アカデミーでは、その時々々の社会問題に向き合い、一人ひとりが考える講座を少数ながら開設し、そうした講座には熱心な受講者がありました。今後もアカデミーが社会との接点を持ち続け、白熱教室とはいかないとしても、専門家と市民との熟議デモクラシーの場となることを願っています。アカデミーは「スズメの学校」ではなく、「メダカの学校」だと最初の受講生の方々に

宣言したのをなつかしく思い出しています。



開学記念パーティー 篠原一、牧証名、和田先生他

## 日本一の「市民大学」を育てた人、和田あき子さん！



副学長 いのちの科学コーディネーター

柴田鉄治

長い間、かわさき市民アカデミーの学長を勤めてこられた和田あき子さんの川崎市文化賞の受賞を祝う会に出席して、和田さんがいかに多くの人たちから愛され、尊敬されていたか、あらためてその人望のすごさを思い知らされた。

考えてみれば、それは驚くにあたらない当然のことだったのだ。和田さんは、かわさき市民アカデミーを日本一の「市民大学」に育てあげた人であり、並みの人にはできないことではない。学長に人望があつて、多くの人たちから愛され、親しまれていたからこそ達成できたことなのである。

私の印象では、和田さんほど「学長」という言葉になじまない人も珍しい。もちろん、学長とって

も実際に勤めている人にはいろいろなタイプの人がいるのだろうが、言葉のイメージとしては「いかめしい」「威厳のある」「重々しい」感じである。和田さんは、それとは正反対の、まったく庶民的な人だ。歌手の和田アキ子よりもずっと庶民的？

和田さんの司会で始まるアカデミーのカリキュラム企画・編成委員会、企画・運営委員会は、いつも夕方から夜にかけて開かれるが、和田さんはしばしばお菓子を買ってきて委員たちに配ってくれる。その美味しかったこと！やさしいお母さんのような気配りに、会議もなごやかに進み、終わったあとの飲み会にも、和田さんは飲めないのに参加してくれて、いつも話題の中心にいるのだ。

学長という言葉にはなじまないといっても、学識をひけらかさないというだけで、ロシア文学の権威なのに、「藤沢周平の大ファン」というところがまた実にいい。

私の見るところ、和田さんがアカデミーの学長として最も威力を発揮したのは、時代を見通す鋭い感覚と幅広い人脈をもっていることだろう。「新百合の教室があいた」とか「領土問題が急浮上した」とか聞くや、たちまち緊急講座を作り上げてしまう早業に舌を巻いたこともしばしばだった。

和田さんへの感謝の言葉と同時に、太田猛彦・新学長のもと和田さんの残したものをしっかりと守り、育てていくことに私たちは全力を挙げることをあらためて誓いたい。



## 心の灯台 和田あき子先生

受講生 角田紀彦

先ず昨年の川崎市文化賞受賞、心よりお慶び申し上げます。学長のご勇退、少し心さびしく思っています。

先生と私の最初の出会いは、2003年10月の文学講座でした。午後の演習では、リストアップされた30余名の作家の中から、各自が選び、その作家について研究発表することになっており、私は島崎藤村を選びました。〈まだあげ初めし前髪の・・・〉から始まる詩「初恋」を読んだときの感動がとても印象に残っていたからです。発表前に藤村の故郷馬籠の「島崎藤村記念館」をぜひ訪ねたいと妻を伴い車を馳せました。先生のアドバイス、「小説はこう読まなければいけないという決まりはない。どんなふうに読んでもいい。人それぞれの感性が違うのだから。」に励まされましたが、いざ発表となると、初めての体験でもあり、残念ながらしどろもどろになってしまいました。

演習の最終回に先生より修了証を戴きました。それには「あなたは02年文学IV期を楽しく意欲的に受講したので、ここに修了証を授与いたします。島崎藤村の発表のために馬籠まで行かれた態度に感心しました。発表も程度の高いもので、いろいろなことを教えていただきありがとうございました。これからも文学の楽しさを追求しながら人生を豊かに楽しんでください。演習担当 和田あき子」とあり、修了証は今も私の大事な宝です。先生の率直で飾らない人柄に導かれ、文学を追求する楽しさを知りました。修了証の先生のコメントは、現在も文学の受講を続けている私への励ましであり、礎となって、心に生き続けています。

定年退職後、暗闇の大海を漂っていた私の心に、先生の心の灯台が進むべき航路を明るく照らし出してくださいました。沢山の思い出とともに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

### 『編集後記』

このNPO通信のレイアウトは、受講生の方をお願いしてやっています。かわさき市民アカデミーを今後も維持・発展させるために、専門的知識（会計・法律・パソコン関係など）をお持ちの方々のご協力をお願いできないでしょうか。皆様からのご連絡をお待ちしています。

編集責任者：折居 晃一、田辺 初子、原 宏、高橋 富夫、西山 拓

発行：NPO 法人かわさき市民アカデミー 広報部 連絡先 TEL：044-733-5590

メール：info@npoacademy.jp NPO ホームページ <http://npoacademy.jp>